

第二十七回帝國議會 院 治水費資金特別會計法案外二件委員會會議錄(速記)第四回

會議

明治四十四年二月九日午後二時四十五分開議

出席委員左ノ如シ

- 長島 鷲太郎君 山際 敬雄君 大繩 久雄君
- 加瀬 禎逸君 高木 正年君 元田 肇君
- 阿部 政太郎君 加藤 政之助君 秋岡 義一君
- 神前 修三君 藤代 市之助君 松田 吉三郎君
- 大野 久治君 大竹 貫一君 堀江 覺治君
- 首藤 陸三君 高森 新吉君 望月 圭介君
- 中川 虎之助君

- 出席政府委員左ノ如シ
- 內務次官法學博士 一木喜徳郎君
- 內務技師工學博士 沖野 忠雄君 內務技師工學博士 近藤虎五郎君
- 大藏省主計局長 橋本圭三郎君 大藏省書記官 西野 元君
- 本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

治水費資金特別會計法案

府縣災害土木費國庫補助ニ關スル法律案

河川法中改正法律案

○委員長(元田肇君) 是ヨリ治水費資金特別會計法ノ委員會ヲ開キマス前會ニ質問ハ結了致シテ居リマスカラ、今日ハ討論ニ掛リマス、全案ヲ議題ニ供シマシテ、御修正ノ御意見デモアリマスナラバ御發議下サルヤウニ……

○高木正年君 大體ニ付テ意見ヲ述ベマス、私ハ治水費特別會計ナルモノ、原案ニ付テ賛成ノ意ヲ表シマス、併シ此特別會計ノ法案其物ヲ見マスルト、治水策ノ根本ヨリ其事業ノ確立スルコトヲ認メラル、ガタメニ、此特別會計法ヲ設ケラル、ヤウデアリマス、併ナガラ政府ガ吾々ニ渡シタル參考書ニ據テ政府ノ意思ノ在ルトコロヲ見ルト、甚ダ其前途ニ於テハ心許ナイ考ヲ生ズルデアリマス、治水費特別會計ハ……

○委員長(元田肇君) チョット高木君政府委員モ居リマセヌ、一應呼ンダ方ガ宜カラウト思ヒマス

(法學博士一木政府委員著席)

○高木正年君 私ハ更メテ申シテ置キマス、私ハ此治水費特別會計ニ付テハ賛成ヲ表シマスガ、併シ其内容ニ付テハ政府ノ希望ヨリモ一層大ナル希望ヲ加ヘテ、此案ノ成立ヲ欲スルデアリマス、治水費特別會計ハ言フ迄モナク、治水事業ノ基礎ヲ堅クスルタメニ發案セラレタモノト存シマス、併シ政府ノ示サレタ參考書ニ依リテ見マスルト、甚ダ心許ナイ感シガ起ル、先ヅ參考書ノ年々ノ收支決算額ヲ見ルト、多イ時ハ千四百萬圓少クモ一千百萬圓内外ノ金額ヲ年々支出サシテ居ル、此金額ノ上カラ見ルト稍、治水ノ

第五類第六號 治水費資金特別會計法案外二件委員會會議錄 第四回 明治四十四年二月九日

仕事ノ上ニ涉ルベキ數字ガ現ハレテ居ルト云ツテモ宜イ、併シ其内容ニ就テ見ルト千四百萬圓少クモ、千四百萬圓ノ金額デアルガ、其中一部分ハ年々此借入金ノ利息ニ消費サレテ居ル故ニ、千四百萬圓ノ金額ガ支出サレテ居ルカラ、是ダケ工事が出來ルモノト思フト、大ナル誤リデアル、ソレニ付テ餘リ利息ハ多クナイケレドモ、五十年ニ於テハ約三百萬圓ノ利息ガ五千五百萬圓ノ中カラ差引カレル五十五年ニハ三百七十七萬圓ト云フ利息、六十年ニハ四百十九萬圓ト云フ利息ガ差引カレル、サウスルト經常ノ歳出トシテ金ノ大部分ハ五十年以後ニ於テハ利息ニ僅カナモノガ治水費ノ費用デアル、其他ハ利息デアル、過日モ臨時治水會ノ經過ニ付テ承ハリマシタガ、政府ノ言フニハ治水事業ハ事實ノ點ニ於テモ、又ハ土地ノ買上等ニ於テモ、多大ノ歲月ヲ要スルデアルト云フ私ノ考デハ政府ノ思フヨリモソット此事業ハ進捗スベキモノト考ヘテ居リマス、何故サウデアるかト云フト、土地ノ買上等ニ於テ政府ハ二箇年ヲ要スルト云フケレドモ、ソレハ他ノ鐵道ノ買上デアルトカ、他ノ工場建築ニ要スル時ノ買上デアルトカ云フモノハ、時ニ故障ノナイモ限ラヌガ、河川ノ改修ニ付テ土地ノ買上等ニ付テ、左様ナ時日ヲ要スルコトハナイ、現ニ昨年ノ十一月ニ結了シタ鐵道院ノ大工場ノ如キハ、僅カ六箇月ニ於テ土地ヲ買收シテ居ル、而モ收用法ヲ適用サレタモノデアルガ、ソレデモ六箇月テ完成シテ居ル、政府ノヤリヤウニ依ツテハ急速ニ運ベル、土地ノ買上等ヲ早クスレバ此工事は進捗スベキモノデアル、政府ハ技術ノ點ニ於テサウハ往カヌト云フケレドモ、四十四年度四十五年度四十六年度ノ如キニ二年ノ内デアハ買上工事は、進歩シマスマイガ、若シ政府ガ誠意ヲ以テ治水工事を完成スルト云フ心ガアルナラバ、技師ヲ養フノ點ニ於テモ、技師ノ熟練ヲスルト云フ點ニ於テモ、數年ノ後今日ヨリ工事を進捗スルコトガ出來ル、斯ノ如キ狀態デアリマスカラ、過日委員會テ內務大臣ガ答ヘマシタコトガ政府ノ誠意トスレバ、此治水工事は八箇年ヨリモソット短縮スルコトガ出來ル、政府ノ參考書ニ依ルトコロノ政府ノ金ノ出シ方、出シタ金ガ大部分利息ニナルト云フコトダケデアレバ工事は進捗シナイ、土地買上ハ進行シテモ金ノ點ニ於テ進捗シナイト云フ結果ヲ見ル、ソレ故ニ公債發行ヲ第五條ニ加ヘタイト申シタ、私ハ此案ヲ修正シテ自分ノ希望ヲ遂行シタイト思フ、サリナガラ治水ノ完成ノタメニ更ニ借入金バカリテナシニ、公債ヲ發行シテナリトモ、出來得ル限り治水工事を完成ラ期シテ、工事は二十河川ハ愚カ、六十五河川ノ中ノ或部分迄モ加ヘテ完成シタイト云フ希望ガアリマス、今申上ゲマス通り、之ニ満足セヌ或場合ニ於テハ、公債ヲ發行シテナリトモ、金ヲ繰上ゲ工事を完成ラ期シタイト云フ意味ヲ以テ、此特別法ニ賛成スル次第デ、私ノ希望スルハ政府ノ希望ヨリ一層其内容ヲ大ニシテ、工事を完成スルヤウニ歸著スルヤウニ欲スルデアリマス

○委員長(元田肇君) 唯今ノ御希望デアリマスガ、別ニ御異論ガアリマセヌナラバ、決ヲ採リマス、原案全部ニ付テ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○委員長(元田肇君) 可決致シマシタ、次ニ之ニ關聯シタ府縣災害土木費國庫補

助ニ關スル法律案、是ハ殆ド當然ノ結果ト思ヒマスカラ進シテ決議ニ掛ケマス、本法ハ明治四十四年度ヨリ之ヲ施行ス、災害準備基金特別會計法ハ四十二年度限り之ヲ廢止ス

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○委員長(元田肇君) 可決ト認メマス

○堀江覺治君(チヨット伺ヒマス、各府縣ニ貸付金ガアリマス、此利子ノ補給ハ將來此法ヲ適用スルノデスカ

○政府委員(法學博士一木喜徳郎君) 唯今ノ御尋ニナリマシタ利子ノコトハ、是ハ補助ニハ關係ガゴザイマセヌ、補助ハ全部國カラ支出ヲ致シマス、唯今御尋ノ此以外ノ今度ノ災害ニ付テ地方ニ特ニ成ベク此負擔ヲ緩メヤウト云フ考ヲ以テ、特ニ國カラ貸出シマス、此貸シニ對スル利子デアリマス、此案ノ外デアリマス

○委員長(元田肇君) 前ニ報告シタ通り本案ハ可決シマシタ、次ニ河川法中改正法案ガ依託ニナリテ居リマス、是ハ加藤君ノ提出デ、先ツ提出者ニ對スル質問、政府ノ意見等ヲ承リマシテ決議ハ後會ニ致シタイト考ヘマス、ドウツ宜シク抄取ノタメ説明ヲ希望シマス

○加藤政之助君 是ハ本會ニ於テ私ガ大要申述ベマシタカラ、諸君ハ既ニ御了知ノコト、考ヘマスカラ、重ネテ茲ニ説明ヲ繰返ス必要ハナイト思ヒマス、唯要領ガケラ申シマスレバ此河川法ト定メラレタノハ、餘程其時期ハ古ウゴザイマス、其後ニ於テ現ニ各府縣ノ徵稅額ト云フモノハ、非常特別稅ガ合併サレテ變化ガ來テアリマス、此變化ガ來テ居ルニモ拘ラズ、舊法ヲ其儘存シテ居ルノハ甚ダ穩當ヲ缺ク譯ト思フ、ナゼナレバ舊法ヲ其儘ニ存シテ置キマスト云フト、此間モ政府委員ノ説明ヲ聽キマスレバ、十分ノ一ト云フコトハ舊租率ノ十分ノ一ト云フモノヲ應用シテ居ルノデアルト云フコトデアリマス、此舊租率即チ二分五厘デアルガ、私ハ此所當局者ノ説明ニハ三分三厘ト云フコトヲ言ッテ居ル、サウスルト十五分ノ一ト云フコトニナリマス、是ハ十五分ノ一デハ當ラヌト云フコトニナリマセウ、二分五厘ガ基礎ナレバドウシテモ此際二十分ノ一ニ改メルガ相當ト思ヒマス、是ハ一旦提出シタ上デカラ餘儀ナイガ、其點ハ宜シク修正ヲ願ヒタイ、而シテ此

歩合ヲ二十分ノ一トスレバ、二十分ノ一ヲ河川改良費ガ超過シタルトキニハ元ノ法デアリマス、二分ノ一ニナリマスガ、ソレデハ甚ダ地方ノ負擔ガ重イカラ、之ヲ四分ノ三ト云フコトニ改メテ、國庫カラ餘計出シテ貫ヒタイト云フノニハ、超過シタ場合ニハ十五分ノ一デゴザイマシタカ、チヨット案ヲ持ッテ居マセヌガ、ソレヲ出シテ貫ヒタイ、要スルニ私ノ趣意ハ地方ガ甚ダ負擔ガ重クテ苦シデ居ル、既ニ臨時ニ此度ハ復舊費ナドモ巨額ニ負擔ヲセネバナラヌ、是モ一年限りナラバ宜シイガ、是ハ將來ニマデ、此負擔ガ殘ル譯デアリマスカラ、是モヤハリ將來何十年間ハ復舊費ヲ地方ノ負擔シテ參ラネバナラヌ、今ハ河川改良ノタメニ巨額ノ費用ヲ要スルノデ、今更地方ハ其負擔ニ堪ヘナイ、左様ナ事情ガアルカラ成ベク地方ノ負擔ヲ輕メルコトガ穩當ト思フ、故ニ右ノ如ク修正ヲ致シテ、國庫カラ餘計出シテ地方ノ負擔ヲ輕クスルト云フノガ、本案ノ趣意デアリマス

○加藤政之助君 三分三厘ト云フコトヲ基礎ニスルト云フ説明ヲ聽キマシタラ、二十分ノ一トスルガ相當ト思ヒマス

○大竹貫一君 要スルニ現在ノ取扱ハ舊率ノ取扱ニ對シテ不分明デアルカラ、キツチリ其取扱ヲ明ニシタイト云フ提案者ノ御趣意デスカ、其序ニ尙地方ノ負擔ヲ輕クシテ國庫ノ支出ヲ多クシタイト云フノデスカ

○加藤政之助君 前後共兩方ノ意味ヲ持ッテ居リマス

○政府委員(法學博士一木喜徳郎君) 本案ニ對シテハ此際一應政府ノ意見ヲ申上ゲテ、御參考ニ供シタイト思フ、唯今御説明ニナリマシタ通り、此案ハ地方ノ負擔ヲ輕クシテ國ノ支出ヲ多クシヤウト云フコト、一ツハ地租條例改正ノ結果トシテ、河川法ノ規定ヲ明瞭ニシテ置ク必要ガアル、此二ツノ趣意カラ來テ居ルコト、考ヘマス、地方ノ負擔ヲ輕クスルト云フコトハ、地方ノ行政ニ當ル者ノ眼カラ見レバ望ムコトデアリマスケレドモ、抑、此度ノ河川改修ノ計畫ハ御承知ノ通り、巨大ノ費用ヲ要スルモノデアリマシテ、畢竟昨年ノ洪水ニ鑑ミ、將來此ノ如キ害ヲ根絶シヤウト云フ趣旨ニ出テ居リマスカラ、今日ニ於テ最モ力ヲ注ガナケレバナラヌコトハ、成ベク此計畫ヲ早ク實行シ且又豫算ニ上ツテ居ル以外ノ六十五河川、約六十五河川ニ對シテモ、漸次計畫ヲ立テ、速カニ此

河川改修ノ效ヲ全フスルト云フコトニナラナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、此目的ヲ達スルニハ、地方ニ於キマシテモ出來ルダケノ負擔ハ忍バナケレバナラヌコトハ、免カルベカラザルコト、思フ、殊ニ將來既ニ地方ニ於テ負擔シテ居ッテ、又其負擔堪ヘタトコロノ額デアリマシテ、此際之ヲ増サウト云フコトデアレバ、是ハ最モ地方ニ取ッテ困難ナコトデアリマスケレドモ、現在ノ規定ノ儘ニ據置クト云フコトナラバ、是マデ河川改修ノ事業ヲ遂行シテ、各地方共ニ負擔シ來タモノデアリマス、ソレヲ今日河川改修ノ急ヲ要スルニ當ッテ、尙更輕イヤウト云フコトハ少シク如何カト考ヘマス、國モ地方モ共ニ力ヲ勦セテ、出來ルダケノ負擔ヲ忍ビテ、成ベク早ク其工事ヲ完成セシメタイト云フコトハ、中央地方一致シタトコロノ希望デナケレバナラヌト思フノデアリマス、左様ナ次第デアリマスカラ、從來ノ費用ノ負擔ノ工合ヲ一層輕クスルト云フコトハ、此際ニ於テ得策デナカラウト考ヘマス、此事ハ財政ニ關スルコトデアリマシテ、一面地方ノ負擔ヲ輕クスレバ國庫ノ支出ガ多クナル、從ッテ國庫ノ財源ニ限リガアリマスカラ、河川改修ノ數ヲ減ストカ、工事ヲ線下ケルトカ致サナケレバナラヌコトニナリマスカラ、ツマリ官民上下一致ノ此希望ガ副ハヌ結果ヲ來スデアラウト考ヘマス、第一ノ御趣意ノ此際地方ノ負擔ヲ輕クシテ、國庫ノ支出ヲ多クスルト云フコトニ付テハ、政府ハ到底御同意ヲ表スル譯ニ參リマセヌ、其第二ノ御趣意ノ河川法ノ規定ヲ明カニスル、是ハ誠ニ御尤デアリマス、併ナガラ政府ニ於テハ從來固ヨリ非常特別稅ト、普通ノ地租ト區別ハアリマスケレドモ、單純ナル文字ノ解釋カラスレバ、非常特別稅モ地租ニ相違ナイノミナラズ、此從來河川法ノ必要上、地租ト申スノハ即チ河川法制定當時ノ率ニ依ッテ地租額ヲ定メタモノト解釋シ、又其通り適用シテ居リマス、地租條例ノ改正ニ依ッテ非常特別稅ノ論ガナクナタト云フコトハ、解釋上カラ云ヘバ五十歩百歩デアリマス、今後モ其解釋ヲ取レバ決シテ地方ノ負擔ヲ從來ヨリ重クスルト云フ恐レハアリマセヌ、河川法ハ地租額ヲ押ヘテ地方ノ負擔力ノ標準トシタノデアリマスカラ、其後地租條例ノ改正ニ依ッテ率ガ増シテモ、ソレニ依ッテ負擔力ガ増シタト云フ

コトハ固ヨリ申サレル筈アリマセヌカラ、是ハ河川法ノ解釋トシテハ制定當時ノ地租ノ率ヲ押ヘタモノトシテ解スルノガ、立法ノ精神ヲ得タモノト思ヒマス、其解釋カラ行ケバ別段差支ナイと思フデアリマス、併ナガラ將來或ハ宅地價等ノ修正等ノ結果、若シ河川法ノ規定ニ改正ヲ行フ必要ガアレバ、更ニ調査ノ上テノ議會ナリニ提案スル場合モアルカ知レヌ、今日ノトコロ從來ノ解釋ヲ取テ行ケバ、別ニ法規ノ改正ヲ要シナイ見込デアリマス、是ハ政府ノ此案ニ對スル意見デアリマス、一應御參考ノタメニ申シテ置キマス

○加藤政之助君 今ノ政府ノ意見ヲ御話ニナタニ付テ、私ハ質問シタイト思ヒマス、其第一ハ今次官ノ御辯論ニテリマシタトコロニ依ルト、河川法制定當時ノ地價ヲ見テ、サウシテ其時ノ率ヲ配當スレバ、假令非常特別稅ガ合併サレテモ、負擔ハ増サヌカラ宜イト云フ御答デアリマスガ、サウスルト餘程面倒ナコトニナリマスノデ、各府縣ガ一定不動ノモノナラバ、ソレデモ宜イカモ知レマセヌガ、サウデナイ、各府縣ハ一定不動デナイ、既ニ動キツ、アル、將來モ尙動クと思フ、サウスルト其御趣旨ニ依レバ、河川法制定當時ノ各府縣ノ地價ト云フモノヲ調ベテ置イテ、サウシテ其地價ヲ標準トシテ、常ニヤルト云フコトデナケレバナラヌ、現在ノ地價デナケレバナラヌと思フ、サウ云フ不便ガアル、殊ニ其宅地價ノ修正デハ各府縣地價ニ異動ガアツタノデアル、又將來地價ニ付テハ必ず異動ガ起ラナケレバナラヌ、起ツタラ引直サナケレバナラヌ、左様セヌト地租ノ負擔ニ於テ差ヲ生ズルコトニナリマス、此點カラ考ヘテモ相當ノ改正ヲシテ、而シテ現在ノ地價ト云フモノニ應用スルコトガ出來ルモノニスル方ガ甚宜イト思ヒマス、政府ハ此點ハ如何デアリマス

○政府委員(法學博士一木喜徳郎君) チョット私ノ申スコトガ足ラヌノカ誤解ヲ招キマシヤウデアリマスカラ、補足シテ置キマスガ、先刻私ガ申上ゲタノハ、河川法制定當時ノ地價額ヲ押ヘルト云フノデヤナイ、率ヲ押ヘルノデアリマス、地價ハ異動ガアリマスガ、其當時ノ率ト申セバ百分ノ二箇半ヲ現在ノ地價額ニ乘シテ算出スル、斯ウ云フコトヲ申シタノデ、今デモサウ云フ風ニ扱ヒ來ツテ居リマス、ソレト同ジ扱ヒシテヤツタラ宜カラウ、ソレカラ宅地價ノ關係デアリマスガ、此事ハ未ダ總體ノ結果ハ分リマセヌ、サウ云フ次第デアリマスカラ、今日ノトコロデハ何トモ申上カネマス、此總體ノ結果ガ明瞭ニナリマシタ場合ニ於テ改正ガ必要ト考ヘレバ、其場合更ニ成案スルコトモアラウカト考ヘマス、今日ハ未ダソレニ及ブアイト云フノデ、既ニ此度ノ豫算ノ如キ別段申上ゲタ扱ヒニ依ツテ提出シテアリマス

○加藤政之助君 今政府委員ノ御答辯ニ依ルト、此河川改修ノタメニ多クノ費用ヲ要スル、是ハ官民一致ヲ急ニ進行スルコトガ必要デアルカラ、成ルベク上一致デナケレバナラヌ、ソレハ御尤至極デ私モサウ考ヘル、併シ其末段ノ御説明ニ、國庫ノ負擔ヲ多クスレバ國庫ハ窮乏シテ居ルカラ、ソレガタメニ勢ヒ工事を引延バスト云フコトノ結果ヲ生ジテ、不利益デハナイカト云フ御話デアリマスガ、是ハ當時地方ノ事ヲ御考ヘニナラヌノデアリマスガ、地方ノ負擔ハ益々増加シテ、今日デハ制限ヲ超エテマデモ地方費ヲ負擔シナケレバナラヌト云フ境遇ニナツテ居リマス、其地方費ノ負擔ノ困難ナルコトハ顧ミナイデ、國庫ノ手許ヲ考ヘテ、國庫ノ負擔サヘ少ナクスレバ工事が進ムノデアル、地方ノ負擔ハ苦シンデモ、地方ニ割當テテ宜シイト云フ意味ニ唯今ノ御説明ハ承リマスガ、夫故ニ今度ハ此方デ借入金ヲスルト云フノハ、即チ其處デ國庫モ地方モ負擔ガ苦シイカラ直

接ニ負擔スルコトハムツカシイ、隨テ工事をスルノガムツカシイカラ借入金ヲスル、サウシテ其工事を進メタイト云フ意味ニ案ガナツテ居リマス、果シテ其意味デアラナラバ、國庫ノ負擔ハ多少増シテモ宜イ、借入金ハ愈々困レバシテ行ケバ宜イト思ヒマス、其邊ニ付テハ御懸念ガアルベキ筈ガナイと思ヒマス

○政府委員(法學博士一木喜徳郎君) 唯今申シマシタノハ地方ノ負擔ノコトハ固ヨリ顧ミナイノデアリマス、併ナガラ地方ガ是マデ以上ノ負擔ヲスルト云フコトハ、出來ル譯ハナカラウケレドモ、此改修ノ際ニ於テ從來ヨリモモット負擔ヲ輕クスルト云フコトハ、行過ギハシナイカト思ヒマス、成程借入金ノ方モアリマスガ、併ナガラ是ハ償還シナケレバナラヌ、償還スルニ付テノ財源トシテハ現在ノ規定ニ基キテ、地方ノ分擔金ヲ以テ此一部ハ充テ、居リマス、若シ之ヲ變更シテ改正案ノ如クスレバ、此計畫ヲ一變シナケレバナラヌト云フコトニナルノデアリマス、デアリマスカラ、ヤハリ先刻申シマシタ通り、此度ノ如キ非常ナ場合デアレバ、尙更地方モ進シテ負擔ヲシナケレバナラヌノデアリマスカラ、此際ニ於テ却テ是マデ負擔シテ來マシタトコロノ率ヨリモ、モット少クシヤウト云フコトハ、河川ノ工事を成タケ速カニ完成セシメタイト云フ完成ノ趣意ニハナラヌト思ヒマス

○首藤陸三君 加藤君ノ提案ニナリマシタノハ名實共ニ適フモノデ、唯今一木次官ヨリ御説明モアリマシタケレドモ、元トクノ加藤君ノ提案ハ其名實伴ハヌカラシテ、地租額ニ附加スルトコロノ額ニ非常特別稅ノ加ツテアルト信ズルノデアリマス、但シ稅率ノ方唯今適當ナルトコロノ引直シテ行カウト云フ說デアルト信ズルノデアリマス、但シ稅率ノ方歩合ノ違フコトハ、加藤君ノ云ハレル通り、次官ハ頻リニ地方ノ負擔ヲ輕クシテ、國庫ノ負擔ヲ重クスルト、地方ニ依テハ選定シタル河川ヲ取除カカ若クハ工事が延期ニナルカト云フ御懸念ノ御説明デアリマシタケレドモ、今回ノ特別會計法ニ依ツテ昨年ノ大水害ニ鑑ミテ根本的治水土云フ策ヲ立テララシメテアラリマスカラ、以前ト違ツテ地方ノ負擔ト云フモノハ頗ル重キヲ加ヘタノデアリマス、第一河川ノ改修ニナルトコロノ府縣ハ、昨年度非常ニ水害ヲ被ツタ處デアル、而シテ此年度ハ幾年ト云フ年度ニナツテ、地方ガ負擔ヲシテ國庫ノ支配ニ應ゼヌケレバナラヌ、即チ府縣會ニ於テ是ハ年々極メナケレバナラヌノデアル、地方ノ各府縣ガ昨年ノ大水害ヲ被ツテ非常ニ荒廢シテ居ル時デアルカラ、加藤君ノ提案ノ如ク地方ヲ輕クシテ國家ガ重キヲ負フト云フコトハ當然ノ結果デアラウト思ヒマス、況ヤ治水ノ如キ國家ノ大根本ヲ立テルノデアリマスカラ、水害ヲ被ツタトコロノ府縣ハ全ク分擔ヲ止メテ、國家ガ河川ノ改修ヲ全部引受けテモ國トシテハ、適當ナル處置ヲ得テ居ルト信シマス、加藤君ノ提案ノ如ク歩合ヲ減ジ、國庫ノ負擔ヲ多クシタカラト云ツテモ、特別會計ニ依テ借入金ニ僅カノ差ヲ生ズルニ過ギナカラウト思ヒマス、而シテ舊來ノ率ニ依ルト名實ヲ確カニシテ、併セテ當時ノ狀態カラ地方ノ負擔ヲ輕クシテ、國家ガ重キヲ負フト云フコトデ、是マデハ年々二三百萬圓ノ治水費デアツタノガ、今回ハ特別會計ニ依ツテ其府縣ガ大ナル負擔ヲ一分擔ヲ致スノデアリマスカラ、此際ニ於テ加藤君ノ提案ハ時宜ニ適當シタル案ト考ヘマス、故ニ私ハ加藤君ニ贊成スルノデアリマス

○委員長(元田肇君) チョット討議デアリマセヌガ質問ナラバ……

○首藤陸三君 ソレナラバ唯今ノコトニ付テ御説明ヲ尙ホ煩シタイノデアリマス、ドウナ

リマスガ、是マデトハ地方ノ負擔ガ重クナルノデアリマス、舊來トハ違ヒマス、新法ニ依テ國家ガヤルカラ地方ノ負擔ハ頗ル重キヲ加ヘルノデス、府縣會ハ此地方稅ノ負擔ト云フコトニ付テハ、是カラソレノ府縣會ノ決議ヲシナケレバナラヌデアリマスガ、ドウ云フコトニナリマスガ、民力ノ關係モアリマス、此等ニ付テハ、內務當局者ノ御所見ヲ承リタイ

○政府委員(法學博士一木喜徳郎君) 唯今ノ御質問ハ此度ノ計畫ニ依テ地方ノ負擔ガ重クナルガ如何ニスルカト云フ御質問デアルト思ヒマス、成程今回ノ計畫ハ二十箇川ヲ第一期ニ於テ改修スルト云フ計畫デアリマス、併ナガラ之ヲ分テ見マスレバ各地

方地方テ一箇川、所ニ依テハ二箇川トナル處モアリマセウケレドモ、先ツ一箇川即チ各縣々ノ負擔カラ云ヘハ是マデト別ニ變テハアリマセウ、唯此度特ニ工費ヲ増シマシテ、從前ノ計畫ヲ變更シテ、且ツ又年限ヲ繰上ゲテ施行スルト云フ所ニ於テハ、成程負擔ハ幾ラカ重クナル譯デアリマス、ソレヲ緩和スルメニハ別ニ借入ノ方法ニ依テ、即

チ或程度マデハ地方ノ希望ニ依テ地方ノ負擔スベキ分ヲモ工費施行年期間ニ必ズシモ分擔セシメズシテ、其後マデ互テ年限ヲ延シテ負擔サセルヤウニシタイト考ヘテ居リマス、別段河川改修ノ計畫ノタメニ特ニ地方ノ負擔ガ重クナルノデハナイデアリマス、ソレダケ

御答致シテ置キマス、尙申シ置キマスガ、河川ノ事業ハ申スマデモナク其地方ニ重大ナル關係ヲ有ツ事業デアリマスシ、第一ニハ其地方ノ利益トナル事業デアリマスカラ、サウ云フモノニ對シテハ地方ニ負擔セシメルト云フコトハ、尤モ適當ナルコトデアリマス、事業ノ精神

カラ申シマスレバ、斯様ナ事柄ハ相當ニ負擔ヲ課スルト云フコトハ、最モ其精神ニ適當テ居ルモノト思ヒマスカラ、唯今御意見ノ如ク國テ全部ヤルノハ相當トハ認メマセヌデア

リマス
○高木正年君 政府ニ御尋致シマスノハ、先刻加藤君ノ問ニ對シテ、且ツ此案ニ對シテ政府ノ意見トシテハ地方費トシテ河川ヲ實行シタトキニ、遡テ百分ノ二箇半ト云フ

モノニ付テ割出スト云フデアルカラ、別ニ今日ハ負擔ハドウデアラウトモ變ラナイト云フ御答デアツタガ、是ハ成程宅地ヲ除イテ他ノ田畑等ニ付テハ其事ハ言ハヌデアリマスガ、唯租稅ハ其基礎トスル地價ガ變テ居ラス、併ナガラ宅地ノ方ハ宅地價修正ニ依テ悉ク

地價ガ違フ、市街地ニ於テハ十八倍マデハ舊稅額ニ持テ行クコトガ出來ル、又郡村ニ於テハ七倍マデ持テ行クコトガ出來ル、成程全國ノ宅地ガ動カナケレバ、八万圓カ

ノ不足ガアルカラ、全體ハ舊稅額ヲ拂ッテ居ルト云フコトヲ近頃政府ガ言ッタト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、併ナガラ宅地其物ニ對シテ悉ク違テ居ルデスカラ、河川法施行ノ當時ニ其

府ノ言フヤウニハナラナイト思ヒマス、其結果政府ハ此法律ヲ直シテ置カナイト、政府ノ希望通りニ府縣ノ稅ヲ取ルコトガ出來ナイト云フコトニナリハシナイカト云フテモ、便宜ヲ採ルト云フ御説ガアリマスケレドモ、併ナガラ從來ノ負擔ヨリ致シマシテカラ、必ズ倍加ス

ルト云フ倍加ドコロデナイ、三倍四倍五倍六倍七倍八倍九倍負擔ヲ増スト云フコトノ決心ヲ持タナケレバ、此治水工事ノ完成ハ期セナクナル、今ノ政府ノヤリ方デハ出來ナイ、ソレ故負擔ガ重クナイヤウニシナケレバ、河川改修ガ出來ナクナル、是ハ加藤君ノ辯答理由デア

アラウト思ヒマス、政府ノ御答デハ、此邊ニドウモ吾々ニ満足ヲ與ヘテ居ラヌヤウデアリマスカラ、序テニ尙伺ヒタイデアリマス
○政府委員(法學博士一木喜徳郎君) 宅地價修正ニ付キマシテハ、先刻チヨット申

シマシタガ、マダ其結果ハ分ラヌデアリマス、ソレハ確定シナイデアリマス、ソレガ確定シタ上ニ於テ其關係上改正ヲ要スルモノガアレバ、政府ヨリ提案スル積リデアリマス、ソ

レカラ唯今御問ヒノ趣ハ了解シ兼ホマスガ、先刻チヨット述べマシタ趣意ハ、此度高木君ノ御説明ノ如ク、積極手段ヲ採ルト云フ御話モアリマシタガ、是ハ各河川ニ付テ見レバ別ニ變ルトコロノ、例ヘバ北上川ヲ改修スルト云フコト今マデトモヤハリ必要ナル設計ヲ立

テ、必要ナル費用ヲ掛ケナケレバナラヌ、其費用ヲ支出スルニ付キマシテハ、分擔シテ負擔シタ以上ハ、以前ト違ハヌ其川ニ付テ分ケテ考ヘテ見マスレバ費用ノ負擔ヲ増スト云フコトハゴザイマセヌ、唯一縣ニシテ或ハ二ツノ川ヲ同時ニヤラナケレバナラヌト云フヤウ

ナコトガアレバ、其場合ニ於テハ地方ノ負擔ガ一時多額ニナルカラ、左様ナモノニ對シテハ先刻申シタ如ク、借入金ト云フ方法ヲ以テ費用ノ負擔ガ増サスト云フ方法ヲ取ルト云フ考デアリマス、從前トモ若シ同時ニ二ツノ河川ヲヤッタラバ、ヤハリ私ガ申上ゲ

タ通リソレダケノ負擔ヲシナケレバナラヌデアリマス、ツマリ其地方ノ利益ヲ思ヒマス、河川改修工事ヲ進メル場合ニ於テ其利益ヲ受ケルトコロノ地方モ、相當ナル負擔ヲ忍

ンデ行クト云フコトハ、已ヨリ得ナイコト、思ヒマス
○加瀬禮逸君 私ハ此案ニ贊否ヲ決スル必要ヨリ、歩合ノコトニ付テ御尋シタイト思ヒマス、現行法ハ手許ニゴザイマセヌカラ或ハ誤テ申上ゲルカ知レマセヌガ、私ノ知ッテ

ル地租ヲ指スノデア、宅地ニ至リマスルト云フト修正額ハツマリ二箇半ト云フ税率ニ至リマスガ、此場合ニ於テ非常特別稅ヲ合算シタモノデアリマスカラ、幾部カ行政率ニ相當スルカト云フコトハ、餘程苦シクコトデアルマイカト思ヒマス、故ニ此點ニ付テハヤハリ後ニ改正ヲ爲サルト云フヨリハ、歩合ノ點ニ於テ相當ノ修正ノ意見モアリマセウシ、又政府ニ於テ御考モアリマセウガ、兎モ角モ田畑宅地トニ通ジテ、百分ノ二箇半ヲ守ル譯ニ往カナイノデアリマス、雙方通ジテ詰リ非常特別稅ヲ合算サレタルモノヲ土臺ニ取ツテシタナラバ、地租額ノ現行法ノ十分ノ一ハ、現今非常特別稅ヲ合算シタモノトスレバ、何分ノ一位ニ當ルカト云フコトモ、序ニ御答ヲ得テ置キタイト思フ

○政府委員(法學博士一木喜徳郎君) 此案ニ依ルノト現行法ニ依リマスノト、ドウ云フ違ヒガアルカ、或ハ從來取扱ヒ來ツタ方法ニ依ルノト、ドウ違フカト云フコトヲ、ソレハ計算致シテ居リマセヌガ、是ハ却テ提案者ノ方ニアルドラウト思ヒマス、ソレカラ此宅地價ノ關係デゴザイマスガ、是ハ御承知ノ通り此河川法ノ規定ハ各戸ニ對スルコロノ負擔額ノ標準デハ無論ナイノデ、一縣ノ負擔額ノ標準ヲ極メルノデ、一縣ノ力ヲ總體見合セテ、サウシテ若シ此宅地價ノ修正ノ結果トシテ非常ナル差ガアレバ、相當ノ改正ヲ加ヘナケレバナラヌト云フコトニナリマセウシ、左程ノ相違ガナイトスレバ改正ヲ要セヌデモ宜イノデ、要スルニ負擔ノ目安ガエライ變更サヘ生ジナケレバ宜イノデアリマスカラ、ソレデ尙實際ニ付キマシテ、此宅地價修正ノ結果ガドウナルカ、各府縣ノ力ノ上ニ多少ノ相違ヲ生ジテ來ルモノデアルカ否ヤ、ソコロノ實況ヲ能ク見タ上ニ於テ改正ノ案ヲ提出スルノガ當然デアルト云フコトニ致シタイト思フテ居ルノデアリマス、宅地價修正ト云フモノヲ行ツテ、實際ノ狀況ニ適應スルヤウニ、地價ヲ定メテ往クノデアリマスカラ、單純ナ理論カラ申シマスレバ、サウ云フモノニ付キマシテハヤハリ或ハ他ノ地租トカ他ノ田畑トカト云フモノト同様ニ、二箇半ニシテ宜イカモ知レヌノデアリマス、ソレガ爲メニ府縣ノ負擔額ニ影響ヲ及ボスコトニナリマスト云フト、相當ナル處置ヲシナケレバナラヌト思ヒマス、宅地價修正ノ結果ニ於テシタ方ガ宜シカラウト考ヘテ居リマス

○加瀬禧逸君 宅地價ニ對スル舊稅率ト云フノハ、ドウ云フ風ニスルノデアルカ、之ヲ伺ヒタイ

○政府委員(法學博士一木喜徳郎君) 是ハ今年ノトコロハ既ニ豫算ニ於テ、現在ノ地價額ニ於テ算出ヲ致シテ居リマスガ、此一年度ハ舊ニ依ッテヤル外仕方ハナイト思フテ居リマス、新タニ宅地價ガ極リマシテモ、ソレヲ標準ニセズニ舊地價ヲ標準ニシテ往クヨリ仕方ガナイト思フ、ソレデ此次に至リマシテ宅地價修正ノ結果トシテ改正ヲ要スル場合ニ、此案ヲ調ベテ提出シタイト考ヘテ居リマス

○委員長(元田肇君) 私ハチヨット確カメテ置キタイト思ヒマスガ、唯今政府委員ノ御答中ニ、地方ノ分擔額等ハ是マデ通リニ課スルノハ、自治體ノ本質トシテ自ラソレヲ擔フノガ當然デアルト云フ御言葉ハ承リマシタガ、ソレダケト承知シテ宜イデアリマスガ、或ハ又財政上カラシテ是ヨリ以上ハ國庫カラシテ出スコトガ困難デアルト云フ點モ、幾ラカアルノデゴザイマスガ、ソレハ困難ナコトハナイケレドモ、自治體ノ本質トシテ分擔シナケレバナラヌト云フ議論ニ止マルノデアリマスガ、ソコロ伺ツテ置キタイ

○政府委員(法學博士一木喜徳郎君) 是ハ先刻モチヨット申述ベマシタ如ク、自治

體モ分擔スルノハ相當デアルト云フコトハ、是ハ一般ノ論デアリマスガ、此河川改修ノ計畫ヲ實行スルニ付キマシテハ、國モ出來ルダケノ力ヲ致シ、又共ニ出來ルダケノ力ヲ致シテ往カナケレバナラヌト云フ趣旨ニ基イテ、國ガ出來ルダケノ力ヲ致シテ此計畫ヲ立ツタノデアリマス、國ガ負擔スルト云フコトニナリマス財政上ニ於キマシテモ此計畫ヲ實行シテ往クト云フコトハ、困難デアラウト思ヒマス、斯ウ云フ趣意デアリマス

○木村格之輔君 加瀬君ノ質問ニナリマシタ此改正ノ法律ニ致シマスト何レダケノ差ガアルカト云フコトヲ、此次ノ委員會マデニソレヲ調ベテ出シテ貫ヒタイ

○委員長(元田肇君) 唯今ノ請求ハ御承認ニナリマスガ

○政府委員(法學博士一木喜徳郎君) 承知致シマシタ

○委員長(元田肇君) ソレデハ次ノ會マデニ提出スルサウデアリマス、本日ハ是デ散會致シマス

午後三時四十五分散會

明治四十四年二月九日印刷

明治四十四年二月十日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局